



## 2026年6月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2025年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 キュービーネットホールディングス株式会社

コード番号 6571 URL <https://www.qbnet.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北野 泰男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 壁谷 勝吉

(TEL) 03-6433-7723

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年6月期第1四半期の連結業績 (2025年7月1日～2025年9月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
2026年6月期第1四半期	百万円 6,809	% 6.9	百万円 603	% 11.2	百万円 549	% 10.2	百万円 379	% 10.1	百万円 379	% 10.1	百万円 427	% 215.1
2025年6月期第1四半期	6,370	0.9	542	△37.9	498	△40.6	344	△41.3	344	△41.3	135	△78.7

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
2026年6月期第1四半期	円 銭 28.74	円 銭 28.25
2025年6月期第1四半期	26.28	25.75

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
2026年6月期第1四半期	百万円 34,055	百万円 14,686	百万円 14,686	% 43.1
2025年6月期	34,211	14,683	14,683	42.9

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年6月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 35.00	円 銭 35.00
2026年6月期	—	—	—	—	—
2026年6月期(予想)	0.00	—	—	40.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2026年6月期の連結業績予想 (2025年7月1日～2026年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
通期	百万円 27,350	% 7.1	百万円 2,200	% 30.5	百万円 2,000	% 35.3	百万円 1,400	% 36.9	百万円 1,400	% 36.9

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

新規 一社 (社名) 一、除外 一社 (社名) 一

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① I F R Sにより要求される会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年6月期 1Q	13,253,100株	2025年6月期	13,182,000株
2026年6月期 1Q	157株	2025年6月期	157株
2026年6月期 1Q	13,209,930株	2025年6月期 1Q	13,123,890株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しており、当社ウェブサイトにも掲載いたします。

また、当社は2025年11月14日に機関投資家及びアナリスト向け決算説明会を開催予定であります。決算説明会の内容については、後日、当社ウェブサイトに掲載予定であります。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書	5
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	6
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	7
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間（2025年7月1日～2025年9月30日）は、雇用及び所得環境の改善を背景に消費活動は緩やかに回復を続けております。しかし、物価高による個人消費の低迷、人手不足による供給制約など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下において、当社グループは、2025年6月期を初年度とする5か年を対象とした中期経営計画「NEXUS」を策定し、人財投資とDX投資を促進することで、世界中で「いつもの」をどこででも実現できるサービスの提供ができるよう事業活動に取り組んでおります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上収益は6,809百万円（前年同期比6.9%増）、営業利益は603百万円（同11.2%増）、税引前四半期利益は549百万円（同10.2%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は379百万円（同10.1%増）となりました。

セグメント別の状況については、以下のとおりであります。

#### <国内事業>

国内事業では、景気の持ち直しによる非製造業の人員需給の逼迫が続いている、一部の地域においてスタイルの不足は見受けられますが、総じて人財採用は堅調に推移しており、計画に沿った出店をいたしました。夏場の記録的な猛暑による影響等はあったものの、2025年2月の価格改定実施と併せて割引制度「ツキイチキャンペン」を全年齢に拡大したこと等から、来店客数は前年同期を上回る水準となりました。

この結果、当セグメントの売上高は5,499百万円（前年同期比5.7%増）、セグメント利益は531百万円（前年同期比8.5%増）となりました。

#### <海外事業>

海外事業においては、香港を中心とした既存進出地域で、一部台風による影響を受けましたが、売上は堅調に推移をしました。前年度に、それぞれ1号店を開店したカナダ、ベトナム及びマレーシアの新規進出地域では、引き続き立ち上げコストが先行しているものの、カナダで2号店を開店するなど今後の成長に向けた事業展開を進めています。

この結果、当セグメントの売上高は1,313百万円（前年同期比12.3%増）、セグメント利益は71百万円（前年同期比35.4%増）となりました。

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間	
	売上	セグメント利益	売上	セグメント利益
国内事業	5,204	490	5,499	531
海外事業	1,169	53	1,313	71

## （2）当四半期の財政状態の概況

### ① 資産、負債及び資本の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産、負債及び資本の状況は次のとおりであります。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ610百万円減少し、6,273百万円となりました。これは主として、現金及び現金同等物の減少542百万円、営業債権及びその他の債権の減少132百万円等によるものであります。非流動資産は、前連結会計年度末に比べ454百万円増加し、27,781百万円となりました。これは主として、使用権資産の増加220百万円、無形資産の増加161百万円等によるものであります。その結果、資産は、前連結会計年度末に比べ156百万円減少し、34,055百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ175百万円減少し、5,959百万円となりました。これは主として、営業債務及びその他の債務の減少102百万円、その他の流動負債の減少161百万円等によるものであります。非流動負債は、前連結会計年度末に比べ17百万円増加し、13,409百万円となりました。これは主として、借入金の減少173百万円、リース負債の増加171百万円、引当金の増加22百万円等によるものであります。その結果、負債は、前連結会計年度末に比べ158百万円減少し、19,369百万円となりました。

資本は、前連結会計年度末に比べ2百万円増加し、14,686百万円となりました。これは主として、資本剰余金の減少440百万円、利益剰余金の増加379百万円、その他の資本の構成要素の増加43百万円等によるものであります。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ542百万円減少し、4,729百万円となりました。当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により増加した資金は、1,252百万円（前年同期は985百万円の増加）となりました。これは主として、税引前四半期利益549百万円、減価償却費及び償却費958百万円等の計上に対し、未払費用の減少額405百万円等の資金減少要因があったことによるものであります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により減少した資金は、482百万円（前年同期は276百万円の減少）となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出281百万円、無形資産の取得による支出170百万円等の資金減少要因があったことによるものであります。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により減少した資金は、1,350百万円（前年同期は295百万円の増加）となりました。これは主として、長期借入金の返済による支出175百万円、リース負債の返済による支出812百万円、配当金の支払額461百万円等の資金減少要因があったことによるものであります。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年6月期の業績予想に関しましては、2025年8月13日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。なお、本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
<b>資産</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び現金同等物	5,271	4,729
営業債権及びその他の債権	1,292	1,160
その他の金融資産	18	6
棚卸資産	121	120
その他の流動資産	179	258
<b>流動資産合計</b>	<b>6,884</b>	<b>6,273</b>
<b>非流動資産</b>		
有形固定資産	1,578	1,580
使用権資産	7,138	7,359
のれん	15,430	15,430
無形資産	157	319
その他の金融資産	2,017	2,047
繰延税金資産	827	831
その他の非流動資産	177	214
<b>非流動資産合計</b>	<b>27,327</b>	<b>27,781</b>
<b>資産合計</b>	<b>34,211</b>	<b>34,055</b>
<b>負債及び資本</b>		
<b>負債</b>		
<b>流動負債</b>		
営業債務及びその他の債務	437	335
借入金	692	692
リース負債	2,731	2,777
未払法人所得税等	165	188
その他の金融負債	84	104
その他の流動負債	2,023	1,862
<b>流動負債合計</b>	<b>6,135</b>	<b>5,959</b>
<b>非流動負債</b>		
借入金	8,129	7,956
リース負債	4,200	4,372
その他の金融負債	54	46
繰延税金負債	30	33
引当金	963	985
その他の非流動負債	14	15
<b>非流動負債合計</b>	<b>13,392</b>	<b>13,409</b>
<b>負債合計</b>	<b>19,528</b>	<b>19,369</b>
<b>資本</b>		
<b>資本金</b>		
<b>資本金</b>	<b>1,373</b>	<b>1,394</b>
<b>資本剰余金</b>		
<b>資本剰余金</b>	<b>4,168</b>	<b>3,727</b>
<b>利益剰余金</b>		
<b>利益剰余金</b>	<b>8,755</b>	<b>9,135</b>
<b>自己株式</b>		
<b>自己株式</b>	<b>△0</b>	<b>△0</b>
<b>その他の資本の構成要素</b>		
<b>その他の資本の構成要素</b>	<b>385</b>	<b>428</b>
<b>親会社の所有者に帰属する持分合計</b>		
<b>親会社の所有者に帰属する持分合計</b>	<b>14,683</b>	<b>14,686</b>
<b>資本合計</b>	<b>14,683</b>	<b>14,686</b>
<b>負債及び資本合計</b>	<b>34,211</b>	<b>34,055</b>

## (2) 要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
売上収益	6,370	6,809
売上原価	△4,853	△5,165
売上総利益	1,517	1,644
その他の営業収益	3	1
販売費及び一般管理費	△969	△1,037
その他の営業費用	△8	△4
営業利益	542	603
金融収益	5	8
金融費用	△50	△62
税引前四半期利益	498	549
法人所得税費用	△153	△169
四半期利益	344	379
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	344	379
四半期利益	344	379
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益 (円)	26.28	28.74
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)	25.75	28.25

## (3) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
四半期利益	344	379
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△209	40
キャッシュ・フロー・ヘッジの有効部分	—	7
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△209	47
その他の包括利益合計	△209	47
四半期包括利益	135	427
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	135	427
四半期包括利益	135	427

## (4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間（自 2024年7月1日 至 2024年9月30日）

(単位：百万円)

	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
					在外営業 活動体の 換算差額	新株 予約権	合計
2024年7月1日残高	1,352	4,502	7,733	△0	526	56	582
四半期利益	—	—	344	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△209	—	△209
四半期包括利益合計	—	—	344	—	△209	—	△209
新株の発行（新株予約権の行使）	0	0	—	—	—	△0	△0
剰余金の配当	—	△354	—	—	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	—	—
所有者との取引額合計	0	△353	—	△0	—	△0	△0
2024年9月30日残高	1,353	4,148	8,077	△0	317	55	373

(単位：百万円)

	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	資本合計
2024年7月1日残高	14,170	14,170
四半期利益	344	344
その他の包括利益	△209	△209
四半期包括利益合計	135	135
新株の発行（新株予約権の行使）	0	0
剰余金の配当	△354	△354
自己株式の取得	△0	△0
所有者との取引額合計	△353	△353
2024年9月30日残高	13,952	13,952

当第1四半期連結累計期間（自 2025年7月1日 至 2025年9月30日）

(単位：百万円)

	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
					在外営業 活動体の 換算差額	キャッシュ ・フロー・ヘッジ の有効部分	新株 予約権
2025年7月1日残高	1,373	4,168	8,755	△0	345	△4	44
四半期利益	—	—	379	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	40	7	—
四半期包括利益合計	—	—	379	—	40	7	—
新株の発行（新株予約権の 行使）	20	20	—	—	—	—	△3
剰余金の配当	—	△461	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	20	△440	—	—	—	—	△3
2025年9月30日残高	1,394	3,727	9,135	△0	385	2	40

(単位：百万円)

	その他の資 本の構成要 素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	資本合計
2025年7月1日残高	385	14,683	14,683
四半期利益	—	379	379
その他の包括利益	47	47	47
四半期包括利益合計	47	427	427
新株の発行（新株予約権の 行使）	△3	36	36
剰余金の配当	—	△461	△461
所有者との取引額合計	△3	△424	△424
2025年9月30日残高	428	14,686	14,686

## (5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期利益	498	549
減価償却費及び償却費	852	958
金融収益	△5	△8
金融費用	50	62
営業債権及びその他の債権の増減額（△は増加）	342	104
棚卸資産の増減額（△は増加）	69	1
営業債務及びその他の債務の増減額（△は減少）	104	19
未払費用の増減額（△は減少）	△424	△405
その他	△96	155
小計	1,390	1,436
利息の受取額	1	3
利息の支払額	△44	△60
法人所得税の支払額	△362	△126
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>985</b>	<b>1,252</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△251	△281
無形資産の取得による支出	△15	△170
差入保証金の差入による支出	△36	△52
差入保証金の回収による収入	28	24
その他	△1	△4
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△276</b>	<b>△482</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の返済による支出	△600	—
長期借入れによる収入	2,000	—
長期借入金の返済による支出	△175	△175
セール・アンド・リースバックによる収入	163	60
リース負債の返済による支出	△740	△812
新株予約権の行使による収入	0	36
配当金の支払額	△354	△461
その他	△0	—
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>295</b>	<b>△1,350</b>
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>△192</b>	<b>38</b>
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	811	△542
現金及び現金同等物の期首残高	4,701	5,271
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>5,512</b>	<b>4,729</b>

## (6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分決定及び業績評価をするために、定期的に検討を行う事業セグメントを基礎としております。

当社グループは、ヘアカット専門店「QB HOUSE」並びに多様なニーズに合わせた業態である「QB PREMIUM」及び「FaSS」の店舗展開により、ヘアカットサービスを提供しており、国内事業と海外事業に区分して管理をしております。したがって、当社グループは「国内事業」及び「海外事業」の2つを報告セグメントとしております。上記の報告セグメントの決定に際して、集約された事業セグメントはありません。

各報告セグメントの概要は次のとおりであります。

事業区分	事業内容	当該事業に含まれるブランド
国内事業	ヘアカットサービスを国内において直営及びFCで展開	QB HOUSE、QB PREMIUM、FaSS
海外事業	ヘアカットサービスを海外において直営で展開	QB HOUSE、QB PREMIUM

## 2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当社グループの報告セグメントによる売上収益及び業績は以下のとおりであります。

前第1四半期連結累計期間（自 2024年7月1日 至 2024年9月30日）

(百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	要約四半期連結財務諸表計上額 (注) 2
	国内事業	海外事業	計		
売上収益					
外部顧客への売上収益	5,201	1,169	6,370	—	6,370
セグメント間の内部売上収益	2	—	2	△2	—
計	5,204	1,169	6,373	△2	6,370
セグメント利益	490	53	543	△0	542

(注) 1. セグメント利益の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間（自 2025年7月1日 至 2025年9月30日）

(百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	要約四半期連結財務諸表計上額 (注) 2
	国内事業	海外事業	計		
売上収益					
外部顧客への売上収益	5,495	1,313	6,809	—	6,809
セグメント間の内部売上収益	3	—	3	△3	—
計	5,499	1,313	6,813	△3	6,809
セグメント利益	531	71	603	△0	603

(注) 1. セグメント利益の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (1株当たり利益)

基本的1株当たり四半期利益及び希薄化後1株当たり四半期利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
親会社の所有者に帰属する四半期利益（百万円）	344	379
普通株式の期中平均株式数（株）	13,123,890	13,209,930
希薄化効果のある普通株式数 ストック・オプションによる増加（株）	266,673	228,027
希薄化後普通株式の期中平均株式数（株）	13,390,563	13,437,957
基本的1株当たり四半期利益（円）	26.28	28.74
希薄化後1株当たり四半期利益（円）	25.75	28.25

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。